

# 2019年度（令和元年度） 学校関係者評価報告書



2019年2月

学校法人帯広コア学園

帯広コア専門学校

## 2019年度 学校関係者評価報告書

### 1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 2019年2月21日（金）16:30～17:30
- ・開催場所 帯広コア専門学校 23教室

#### 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	属性
平 秀明	帯広北高等学校長	高校
鈴木 義尚	帯広商工会議所 事務局長	団体
奥 康裕	(株)ズコーシャ IT事業部部長	企業
志賀 政徳	フジ暖房工業株式会社専務取締役	保護者
南出 雅樹	(有)マミィ 代表取締役	卒業生

#### 事務局

神山 恵美子	理事長兼校長
阿部 肇	副校長
村川 貴康	事務長

### 2. 評価対象期間

自:2018（平成29）年4月1日  
至:2019（平成30）年3月31日

### 3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

（資料）

- ・2018年度 事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

### 4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価について報告します。

全員から基準1から基準10まで適切であると評価を受けました。

・学校自己評価の点数の付け方には、項目によるが客観的より主観的な要素が入ったものではないか  
とご指摘がありました。次年度はその点を十分留意して評価することを周知します。

評価委員個々に意見をいただきましたので各項目について報告します。

(1) 教育理念・目的・育成人材像等

- ・社会環境の変化に対応して検討を加えているとのことであるが、時代に合わせて地域のニーズに応じて変化していくのは良いことである。
- ・HP、パンフレットで理念をもう少し細かい内容で教職員にも伝えるとよい。
- ・会社の経営理念などは伝えにくいところもある。活動計画や各部署で何をやるか常に見えるようにしてシートにまとめ配布するなどする方法もある。

(2) 学校運営

- ・教職員の人事考課においては、自己目標の設定と自己評価を取り入れた方が良いのではないかと提案があった。
- ・教職員の何人か代表にこの会議に参加して意見を聞いてもらうのもいい。

(3) 教育活動

- ・当社にもコアの学生を数名採用しているが、社会人として教育されていると感じている。挨拶がきちんとでき、コミュニケーション能力ややる気もあり評価できる。
- ・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の評価が4はよいことである。

(4) 教育成果

- ・歯科衛生士科1年生が4名退学しているのは課題である。入学初期の段階でモチベーションを高めるのがよい。
- ・学生に関する（資格取得の指導体制）で自己評価が4となっているのは評価できる。

(5) 学生支援

- ・卒後の学生支援する上で、同窓会35周年はちょうど良い時期、まず集まるきっかけをつくることから始めることが大事である。
- ・先輩、若い卒業生が集う場である同窓会で、卒後教育の場として講演会など、同窓会による支援を検討したい。
- ・情報系学科の学生就職支援に重点をおいていきたい。

(6) 教育環境

- ・施設設備の自己評価が低くなっているが、開校から30年と老朽化している個所もあるようなので、次年度以降も徐々に設備の入替え等を検討していくのがよいのではないかと。

(7) 学生の募集と受け入れ

- ・介護福祉科で留学生が頑張っていると聞く、次年度以降も入学が続くとよい。
- ・保護者から何か協力してできることがあればお手伝いしたい。
- ・大学生は卒業後に全国へ散っていくが、コアは地元に残るので地域にはありがたい。

(8) 財務

- ・帯広コア学園の監査をしている立場としては、学校の財務状況は健全で監査は適正なものである。

(9) 法令等の遵守

- ・個人情報の管理は見直しをしたい。
- ・自己評価の情報公開はなされ、就業規則等を見直し中とのことであり、対応はほぼ適切である。

(10) 社会貢献

- ・学生に関する項目（社会貢献）については、力を入れているようであり自己評価が4となっているのは評価できる。

以上